



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 ダイキョーニシカワ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4246 URL <http://www.daikyonishikawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 成明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長 (氏名) 松尾 拓典 (TEL) 082-885-9979
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	94,435	11.6	5,307	△14.8	5,529	△13.5	4,002	△6.4
2019年3月期第2四半期	84,590	4.0	6,229	△25.9	6,393	△28.1	4,278	△29.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 4,042百万円(8.0%) 2019年3月期第2四半期 3,742百万円(△53.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	56.49	56.45
2019年3月期第2四半期	60.39	60.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	146,720	80,052	52.5
2019年3月期	146,356	77,200	50.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 76,983百万円 2019年3月期 74,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2020年3月期	—	15.00			
2020年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,000	2.5	10,400	△28.9	10,500	△29.2	6,700	△35.6	94.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表した予想から修正しております。詳細は、本日(2019年11月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	73,896,400株	2019年3月期	73,896,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,042,930株	2019年3月期	3,042,930株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	70,853,470株	2019年3月期2Q	70,851,497株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）の自動車業界を取り巻く事業環境は、国内自動車メーカーのグローバルでの生産台数は全体では前年を若干下回る推移となりました。

このような環境の中で、当社の取り組みとしまして、2022年度を最終年度とする中期経営計画に掲げる経営指標達成に向け、主要販売先の次世代商品群向けの新製品の量産準備や、新本社が2020年1月稼働に向け建設を進める中、新本社に隣接して新築した本社工場では2019年5月より一部ラインで稼働を開始しております。また、米国アラバマ州においても新工場（2021年生産開始予定）の建設に着手する等、国内外における新拠点への取り組みを推進するとともに、既存プロセスの生産性改善や人材育成、人材確保をはじめとする働き方改革のための諸施策等を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ9,845百万円（11.6%）増加の94,435百万円となりました。営業利益は、増収効果や改善活動によるコスト低減等はありませんでしたが、働き方改革のための諸施策の実施による費用や本社工場の一部稼働開始に伴う減価償却費の増加、メキシコの減産影響及び新車種立ち上げ費用等により、前年同期と比べ922百万円（14.8%）減少の5,307百万円となりました。経常利益は、前年同期と比べ864百万円（13.5%）減少の5,529百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ275百万円（6.4%）減少の4,002百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ11,664百万円（17.4%）増加の78,836百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、働き方改革のための諸施策の実施による費用や本社工場の一部稼働開始に伴う減価償却費の増加、次世代技術開発に伴う研究開発費の増加等により、前年同期と比べ727百万円（14.8%）減少の4,175百万円となりました。

（中国・韓国）

中国子会社における主要販売先への売上減により、売上高は前年同期と比べ1,589百万円（24.8%）減少の4,813百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、減収影響等により、前年同期と比べ118百万円（30.9%）減少の266百万円となりました。

（アセアン）

タイ子会社やインドネシア子会社における主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ2,243百万円（39.5%）増加の7,922百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果等により、前年同期と比べ245百万円（38.5%）増加の883百万円となりました。

（中米・北米）

メキシコ子会社における主要販売先への製品売上減はありませんでしたが、新製品の量産開始に伴う金型売上の増加等により、売上高は前年同期と比べ18百万円（0.2%）増加の9,402百万円となりました。セグメント損益は、メキシコの減産影響及び新車種立ち上げ費用、米国新工場の準備費用等により、54百万円のセグメント損失（前年同期は411百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ364百万円(0.2%)増加し、146,720百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、原材料及び貯蔵品が減少した一方で、有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ2,487百万円(3.6%)減少し、66,667百万円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ2,851百万円(3.7%)増加し、80,052百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末と比較して2,750百万円(8.5%)減少し、29,519百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10,666百万円の収入(前年同期は5,558百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益5,473百万円の計上、減価償却費5,165百万円の計上による資金増加があった一方で、法人税等の支払額1,446百万円による資金減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10,578百万円の支出(前年同期は7,585百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出10,082百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,771百万円の支出(前年同期は2,218百万円の支出)となりました。主な要因は、セール・アンド・リースバックによる収入2,072百万円があった一方で、リース債務の返済による支出2,113百万円及び長期借入金の返済による支出1,227百万円があったことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,571	35,285
受取手形及び売掛金	32,286	30,810
電子記録債権	3,708	2,924
商品及び製品	3,769	4,153
仕掛品	960	1,433
原材料及び貯蔵品	5,390	3,576
未収入金	335	192
その他	1,539	1,799
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	85,554	80,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,354	16,132
機械装置及び運搬具（純額）	13,641	15,584
工具、器具及び備品（純額）	2,221	2,532
土地	12,788	12,711
リース資産（純額）	6,018	6,868
建設仮勘定	10,166	7,581
有形固定資産合計	55,189	61,412
無形固定資産	976	716
投資その他の資産		
投資有価証券	1,840	1,693
長期貸付金	648	519
繰延税金資産	2,043	2,018
その他	758	715
貸倒引当金	△655	△526
投資その他の資産合計	4,634	4,421
固定資産合計	60,801	66,550
資産合計	146,356	146,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,448	26,065
短期借入金	2,509	2,179
1年内返済予定の長期借入金	2,941	3,349
リース債務	3,298	3,494
未払金	4,420	4,795
未払費用	555	649
未払法人税等	1,374	1,474
資産除去債務	—	46
賞与引当金	2,036	1,869
製品保証引当金	1,843	1,775
環境対策引当金	67	63
災害損失引当金	64	15
設備関係支払手形	321	253
その他	1,174	454
流動負債合計	47,057	46,486
固定負債		
長期借入金	15,549	13,853
リース債務	2,790	2,942
退職給付に係る負債	2,978	2,793
役員退職慰労引当金	11	12
資産除去債務	193	149
繰延税金負債	427	276
その他	147	152
固定負債合計	22,097	20,181
負債合計	69,155	66,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,426	5,426
資本剰余金	10,835	10,835
利益剰余金	60,351	63,149
自己株式	△4,415	△4,415
株主資本合計	72,198	74,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151	13
為替換算調整勘定	2,281	2,145
退職給付に係る調整累計額	△344	△171
その他の包括利益累計額合計	2,088	1,987
新株予約権	57	73
非支配株主持分	2,856	2,995
純資産合計	77,200	80,052
負債純資産合計	146,356	146,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	84,590	94,435
売上原価	74,067	84,420
売上総利益	10,522	10,015
販売費及び一般管理費	4,293	4,708
営業利益	6,229	5,307
営業外収益		
受取利息	64	73
受取配当金	15	14
貸倒引当金戻入額	—	131
持分法による投資利益	134	124
為替差益	13	1
その他	89	101
営業外収益合計	318	446
営業外費用		
支払利息	136	206
その他	18	17
営業外費用合計	154	224
経常利益	6,393	5,529
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	13	—
特別利益合計	14	3
特別損失		
固定資産除売却損	32	43
本社移転費用	—	16
災害による損失	61	—
災害義援金	51	—
特別損失合計	144	59
税金等調整前四半期純利益	6,263	5,473
法人税等	1,755	1,298
四半期純利益	4,508	4,174
非支配株主に帰属する四半期純利益	229	172
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,278	4,002

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	4,508	4,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△138
為替換算調整勘定	△708	△130
退職給付に係る調整額	4	178
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△41
その他の包括利益合計	△766	△131
四半期包括利益	3,742	4,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,584	3,901
非支配株主に係る四半期包括利益	157	141

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,263	5,473
減価償却費	4,485	5,165
災害損失	61	—
株式報酬費用	12	15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△131
賞与引当金の増減額(△は減少)	△251	△165
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△114	△68
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△214	△186
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△80	△87
支払利息	136	206
持分法による投資損益(△は益)	△134	△124
固定資産除売却損益(△は益)	31	40
投資有価証券売却損益(△は益)	△13	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,169	2,254
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,878	906
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,895	△299
その他	508	△798
小計	9,087	12,200
利息及び配当金の受取額	112	118
利息の支払額	△136	△206
災害損失の支払額	△54	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,451	△1,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,558	10,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△509	△390
有形固定資産の取得による支出	△6,997	△10,082
有形固定資産の売却による収入	2	7
無形固定資産の取得による支出	△92	△236
投資有価証券の売却による収入	33	—
長期貸付金の回収による収入	—	129
その他	△21	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,585	△10,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△354	△296
長期借入金の返済による支出	△1,372	△1,227
セール・アンド・リースバックによる収入	2,706	2,072
リース債務の返済による支出	△1,922	△2,113
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△1,275	△1,204
非支配株主への配当金の支払額	—	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,218	△2,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	△228	△67
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,475	△2,750
現金及び現金同等物の期首残高	38,574	32,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,099	29,519

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下、IFRS第16号)を適用しております。これにより、借手としてのリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末のリース資産が676百万円、リース債務(流動負債と固定負債の合計)が280百万円増加しており、無形固定資産が396百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国・韓国	アセアン	中米・北米	
売上高					
外部顧客への売上高	65,099	4,455	5,658	9,376	84,590
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,072	1,947	20	7	4,047
計	67,172	6,403	5,679	9,383	88,637
セグメント利益	4,902	385	637	411	6,337

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,337
セグメント間取引消去	△107
四半期連結損益計算書の営業利益	6,229

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国・韓国	アセアン	中米・北米	
売上高					
外部顧客への売上高	75,032	3,063	6,977	9,363	94,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,804	1,750	945	39	6,538
計	78,836	4,813	7,922	9,402	100,974
セグメント利益又は損失(△)	4,175	266	883	△54	5,270

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,270
セグメント間取引消去	36
四半期連結損益計算書の営業利益	5,307